

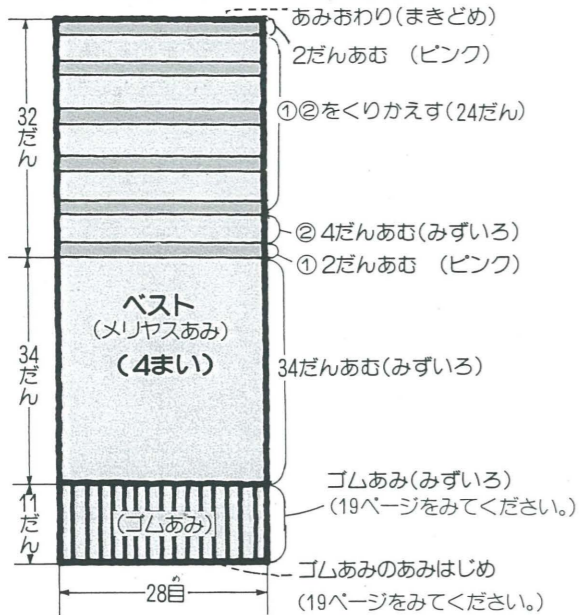
すてきな模様あみがかんたんに行ける

HAVE  
HAVE  
NICE HOBBY

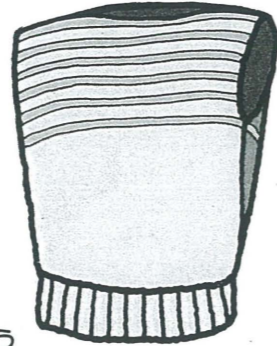
# あむあむ

だれにでもやさしくつくれる  
おしゃれなニットがいっぱい……  
おきにいりのけいとで、どんどんあんじゃあ!

下の図のようなものを4まいあみます。



## ベスト

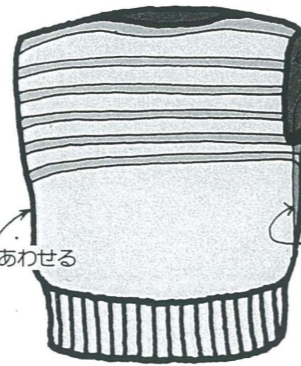
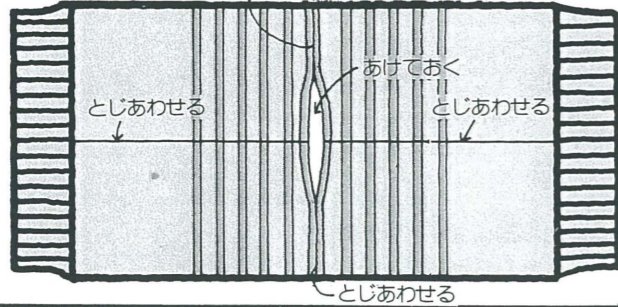


ざいりょう

並太毛糸 みずいろ～約 100g  
ピンク～約 20g

☆とじるまえに、かたちをととのえて、スチームアイロンをかけると、うまくしあがります。

4まいをとじあわせませう。



製品については、万全の注意をはらって製造に当たっていますが、万一お気付の点がありましたら、各営業所又は下記へ連絡ください。

宛先：〒124 東京都葛飾区立石7-9-10

株式会社トミー お客様サービス係

あむあむ担当

TEL 03(693) 1031 (大代表)

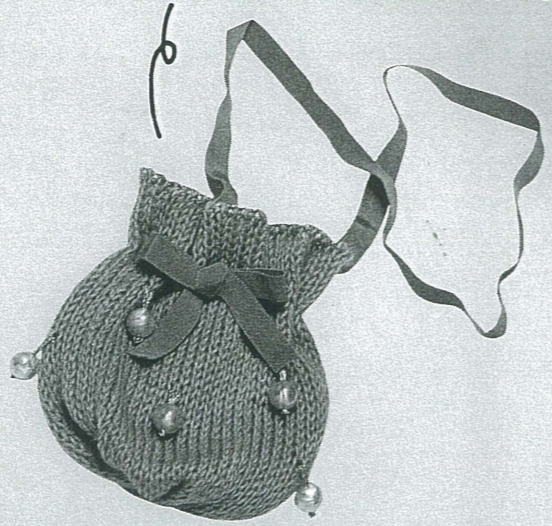
北海道営業所	〒060	札幌市中央区北三条西3-1-44(札幌富士ビル3F)	011(231) 7818
仙台営業所	〒980	仙台市大町1-1-10(第2青葉ビル9F)	0222(62) 4925
北陸営業所	〒920	金沢市片町1-1-34(金沢第一生命ビル6F)	0762(22) 2275
関東甲信越営業所	〒124	東京都葛飾区立石7-9-10	03(693) 1031
横浜営業所	〒220	横浜市西区北幸町2-9(横浜銀洋ビル2F)	045(314) 5361
名古屋営業所	〒461	名古屋市東区泉2-28-24(ヨコタビル2F)	052(931) 0683
大阪営業所	〒567	大阪府茨木市宮島2-2-35	0726(34) 4412
広島営業所	〒730	広島市東区光町2-6-34(広弘ビル3F)	082(263) 7221
九州営業所	〒812	福岡市博多区博多駅前1-1-33(博多近代ビル2F)	092(471) 7661



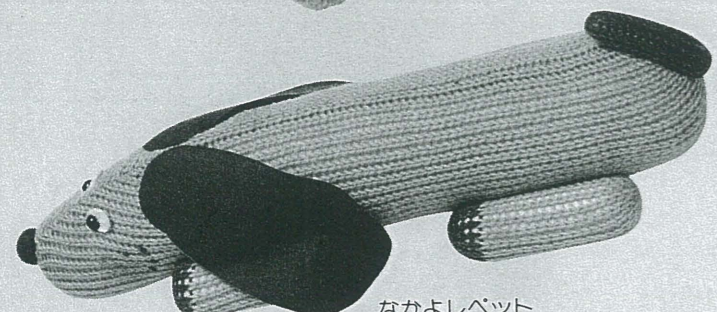
TOMY

ちいさなレディのおでかけに

♡ポシェット パールのボタンとラメのふちかざりがポイント。  
リボンの色もおそろいでとってもおしゃれ……。



かわいいインテリア  
♡ウォールポケット  
ウサギのアップリケとポンポン  
がとってもかわいいでしょ！  
レターラックや  
こもの入れにもどうぞ。



なかよしベツト  
♡犬のぬいぐるみ

大きな耳のダックスフンド。  
お友達がみたら「カワイイ」って  
ほしがるかもね。

ふんわりふかふか

♡クッション カラフルなくみあわせがたのしいクッション。おあきなポンポンがポイントよ。



わたしのマスコット  
♡にんぎょう

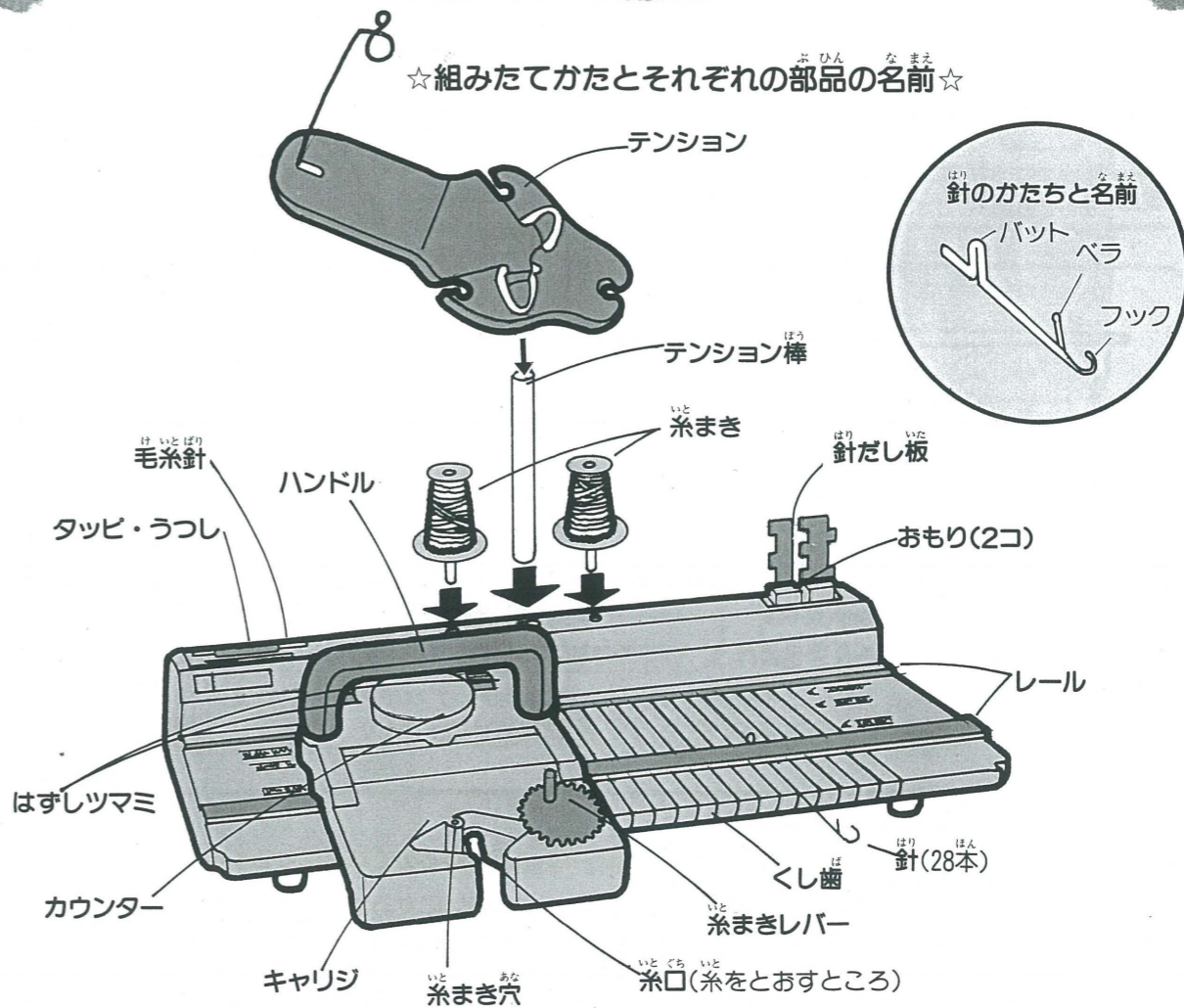
しましまシャツにホットパンツ、  
カーリーヘアがすてきでしょ？  
おへやにおいてかわいがってね。



## もくじ

組みたてかたとそれぞれの部品の名前……	5	キャリジが動かなくなったとき……	16
ふぞくひんの名前とつかいかた……	6	あみ目をほどこきたいとき……	16
このあみきでつかえる毛糸のしゅるい……	6	あみ目が針からはずれたとき……	17
あみきの正しい置きかた……	7	うまくあめないときにちゅういすること……	17
針の位置をおぼえましょう……	7	作品をつくるための方法……	18
キャリジを動かしてみよう……	8	たのしい作品のつくり方……	20
キャリジがうまく動かせるようになったら 毛糸をあんでみましょう……	9	ニットキャップとマフラー……	20
あみあわりのしまつをしましょう……	12	ポシェット……	21
もようあみのあみかた……	13	ウォールポケット、クッション……	22
もようあみのいろいろ……	14	ポシェット……	23
こんなときには……	16	ベスト……	24

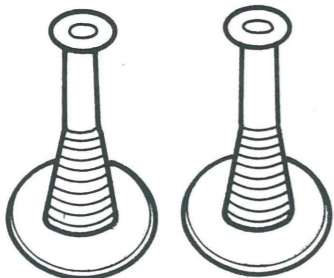
☆組みたてかたとそれぞれの部品の名前☆



(パッケージ、説明書などの写真が、商品と一部異なることがあります。ご了承ください。)

ふぞくひんの名前とつかいかた

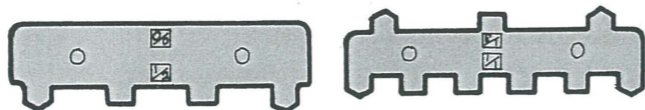
④ ふぞくひんはなくさないように小さなあき箱などに入れておきましょう。  
(タッピ・うつし、おもり、毛糸針などは、幼児の手のとどかないところにおいてください。)



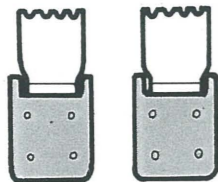
糸まき(2コ)



タッピ・うつし(1本)  
あみ目をなおしたり、うつしたりするときにつかいます。



針だし板(2枚)  
針の位置をそろえたり、もようあみのときにつかいます。



おもり(2コ)  
あみ地の両はしにかけます。



毛糸針(1本)

れんしゅう用  
並太毛糸(25g)

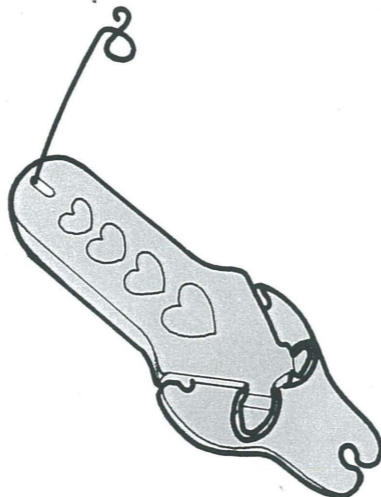


きせつにより色がかわることがあります(なくなったらお家にある毛糸をつかってください)



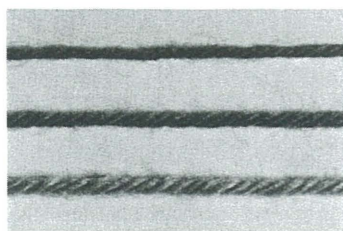
テンション棒

テンションを立てる棒です。毛糸をこれとおしてつかいます。



テンション

このあみきでつかえる毛糸のしゅるい



①  
②  
③

① 中細糸……目はゆるめですが、かるくあめます。

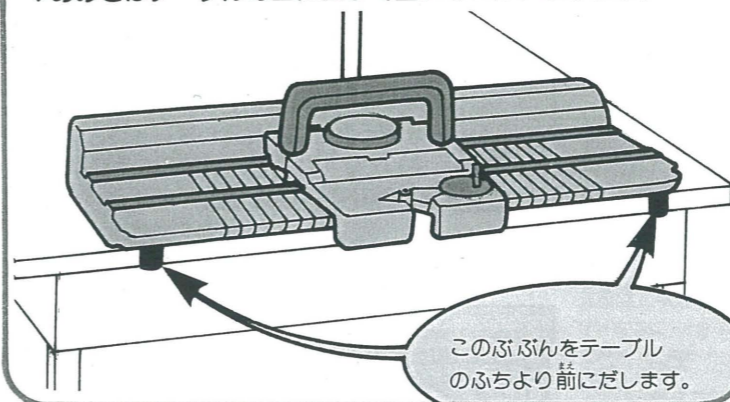
② 合太糸……きれいにかるくあめます。

③ 並太糸……目がいちばんきれいにあめます。

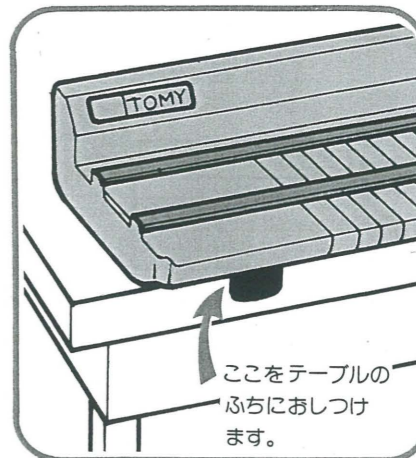
☆ 極太糸はむりですのでつかわないでください。

あみきの正しい置きかた

♡ あみきはテーブルの上に正しく置いてつかいましょう。



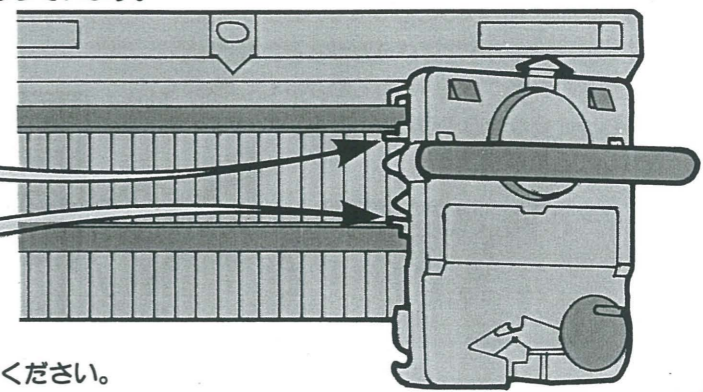
このぶぶんをテーブルのふちより前にだします。



ここをテーブルのふちにおつけます。

☆ キャリジは両はしからはずれるようになっています。すべらせて落さないようにしましょう。

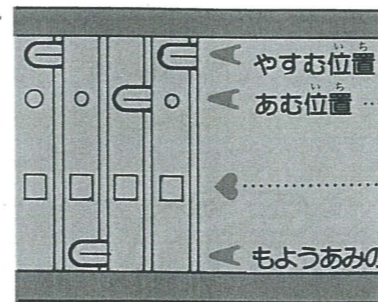
キャリジを入れるときはキャリジのこのぶぶんを前とうしろのレールのあいだに入れましょう。



☆ キャリジのうらがわは、さわらないでください。

針の位置をおほえましょう

♡ あみきの両はしには、3つの位置が書いてありますが、これは針をそろえる位置です。それぞれの位置のはたらきをおほえて、針はいつもきちんとそろえておきましょう。



やすむ位置……この位置にそろえた針は、キャリジを動かしてもあめません。

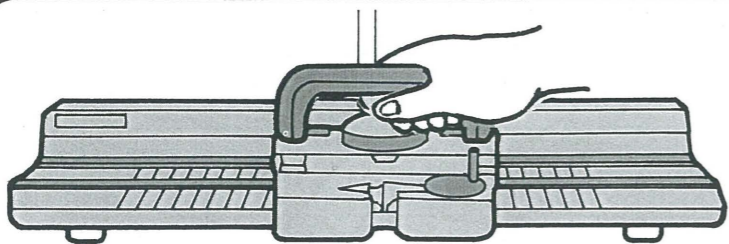
あむ位置……キャリジを動かすと糸があまれる位置です。針のミノの筒にまるいしるしがついていますので、あむ位置に針をそろえるときは、この位置にそろえてください。

……(まちがって、「もようあみの位置」にだしてしまつた針を元へもどすときは、この位置にもどします。)

もようあみの位置……もようあみ(ひきあげあみ)をするときに、針だし板でこの位置に針をだしてあみます。

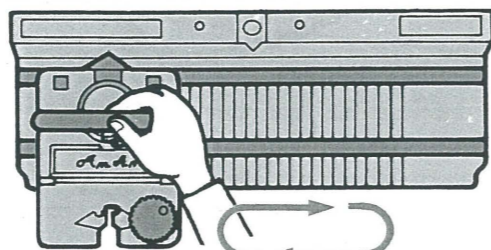
## キャリジを動かしてみよう

♡あみはじめ前にキャリジを動かすれんしゅうをしてみましょう。

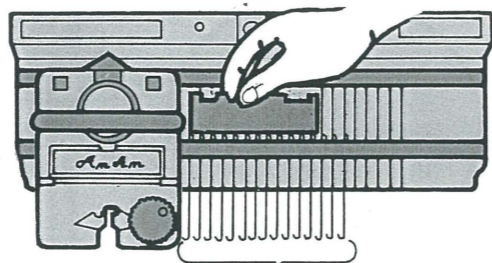


キャリジの持ちかたは……  
図のように、ハンドルのすこしはしの  
まがったところを持ちましょう。  
そして、下におさえつけるようにして、  
しっかりとぎります。

①ぜんぶの針を“やすむ位置”にそろえてから、キャリジをはしからはしまでなんかいも動かしてみましょう。  
キャリジは、上からおさえつけるようにして、はしからはずれないようにゆっくりと動かします。  
まん中のところですこしひっかかるところがありますがそのまま、おもいきって動かしてください。  
なめらかに動かせるようになったら、キャリジを左はしでとめます。

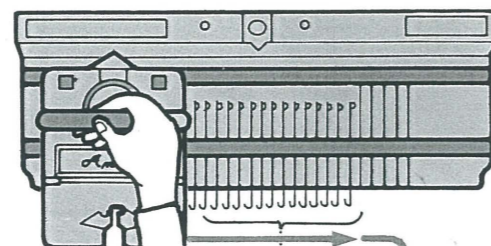


②針を15本だけ“もようあみの位置”にだしましょう。  
針だし板を使って、なるべくまん中の針をだしてください。



15本出します。

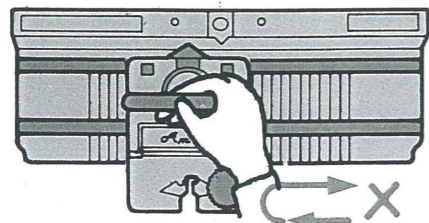
③キャリジを右へ動かします。15本の針をとおりすぎたら左へもどします。  
針は“あむ位置”にそろいましたね。  
つづけてなんかいキャリジを動かしてみましょう。  
キャリジが“あむ位置”の針を通りすぎるとカチツという音がしますね。  
その音をたしかめてからもどしましょう。



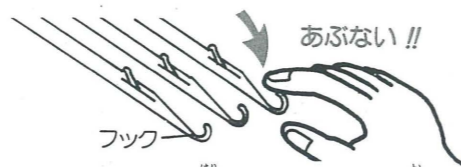
あむ位置にそろいましたね。

### ちゅうい

☆あむ位置にだした針のとちゅうで、キャリジをもどすことはできません。



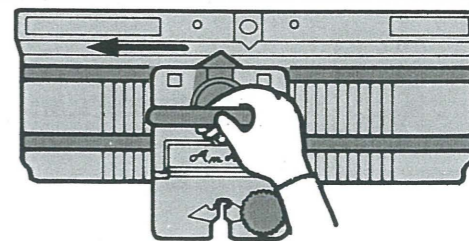
☆針のフックは、とがっていてあぶないですから、気をつけてください。



☆あみおわったら、針はかならず“やすむ位置”にもどします。

### カウンターについて

キャリジがあみきのまん中をとおりすぎる  
ときにカウンターのダイヤルが動くよう  
になっています。  
キャリジを一回動かすと、ダイヤルが  
1目もりずつ動きます。  
あみはじめに“0”にあわせるとなん段あ  
んだかがすぐわかります。



☆あみきでは、キャリジを1回動かすごとに、  
1段とかぞえます。  
☆カウンターは30段で1回まわります。



あみはじめは▲にダイヤルの  
“0”をあわせませす。

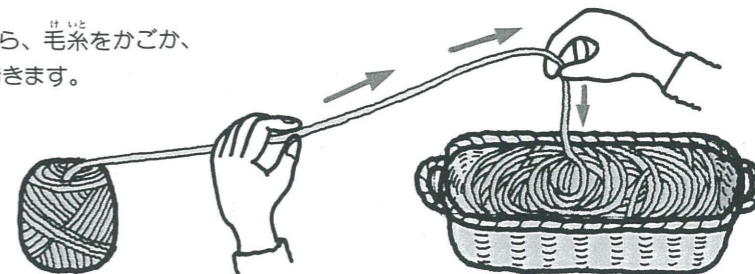


1だんあむごとに1目もりずつ  
動きます。

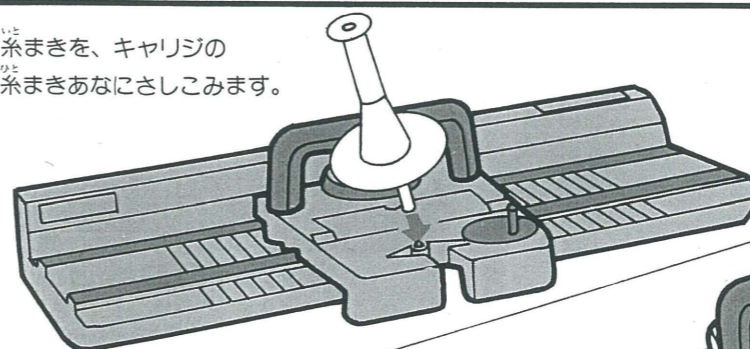
☆キャリジがうまく動かせるようになったら、毛糸をあんでみましょう。

### 毛糸を糸まきにまきましよう

毛糸をまくまえに、毛糸の玉から、毛糸をかごか、  
あき箱などにほぐしていれておきます。



糸まきを、キャリジの  
糸まきあなにさしこみます。



左手で糸をかるくもってすこしずつ、  
上下に動かし、毛糸がかたよってまか  
れないようにします。



毛糸のはし  
をこのつめに  
ひっかけます。

糸まきレバーを  
矢じるしの方向  
にまわします。

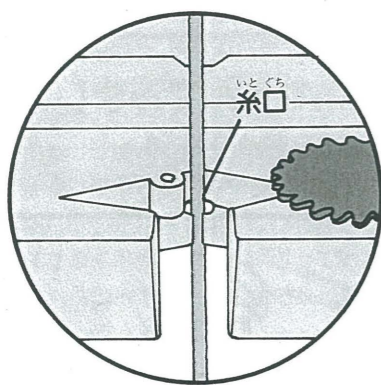
毛糸をテンションと糸口にとおします

♡毛糸をテンションとキャリジの糸口に図のようにおします。

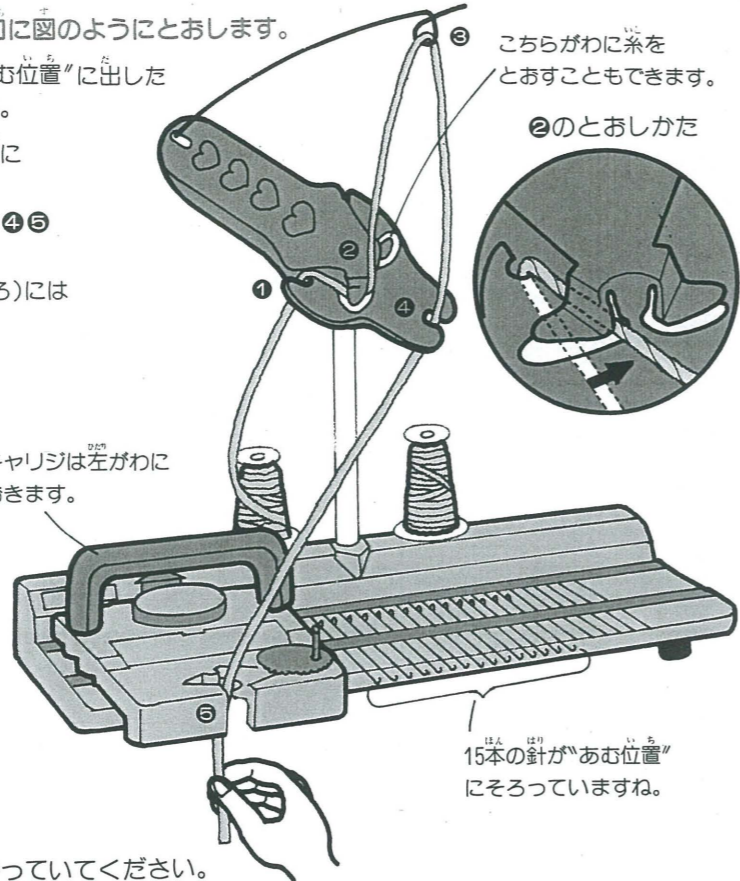
☆糸をおすまえに、キャリジは“あむ位置”に出した15本の針の左はしにおいてください。

- (1)糸まきはテンション棒の両わきの穴にさしこみます。
- (2)テンションにおすときは、①②③④⑤のじゆんにおします。
- (3)さいごのキャリジの糸口(⑤のところ)には下の図のように入れて入れます。

糸口への糸のおし方



キャリジは左がわにおきます。



こちらがわに糸をおすこともできます。

②のとしかた



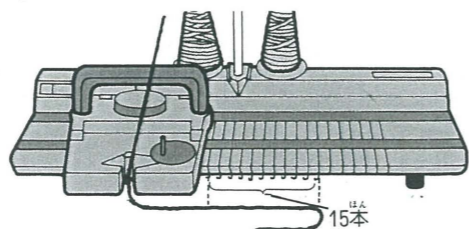
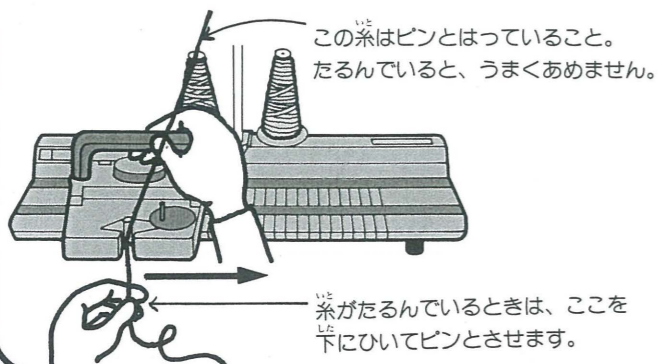
15本の針が“あむ位置”にそろっていますね。

☆とおした糸はそのまま手で持っていてください。

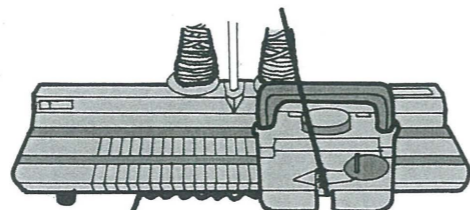
あみはじめの目をつくりましょう

♡あむはば(15本)のやく1.5ばいの糸を糸口下からひきだします。

♡キャリジの下の毛糸を手でもったまま、キャリジを左から右へ動かします。

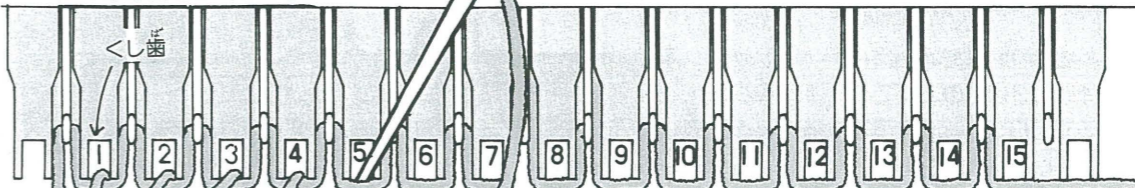
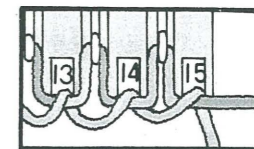


1.5ばいの糸を出しましょう



♡15本の針に糸がかかります。

♡あみはじめに1.5ばいのこした毛糸を毛糸針とおして、下の図のように左のくし歯の穴からおしていき、あみはじめの目をつくります。



2つにおると、とおしやすいですよ。

①はじめに、くし歯の1のあなに毛糸針を上からさしてとおし、たるみのないようにひきます。

②つぎに2,3,4. とおなじようにくりかえて、15までとおします。

③このこした毛糸は10cmほどのこして切り下にたらしておきます。

☆あみはじめの目をつくりおわったら針を“あむ位置”にきちんとそろえましょう。

あみはじめましょう

♡カウンターを0にあわせてください。

♡キャリジをゆっくり、おなじはやさで動かしましょう。

3段(かた道が1段になります)あんでください。

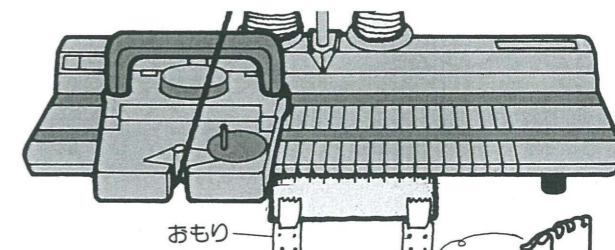
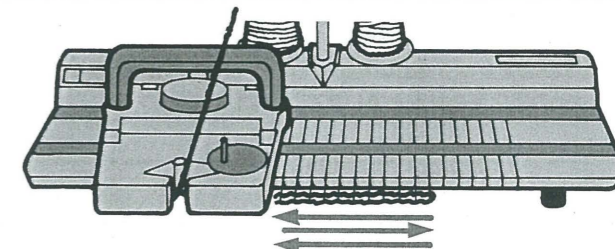
☆キャリジをはしまで動かしすぎるとはしの糸がたるむことがあります。動かしすぎないように、ゆっくりあみましょう。

♡りょうはしにおもりをかけましょう。

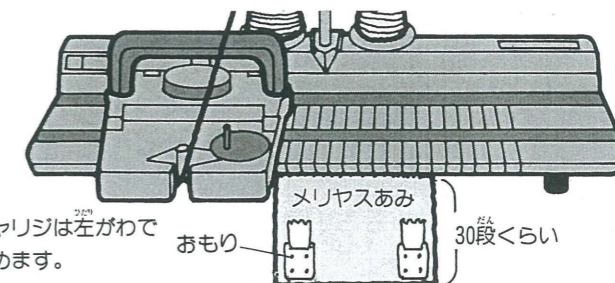
あみはじめたら、おもりはときどき上にかけなおしましょう。もし、あんでいる毛糸がなくなってしまうたら、かわりの糸を糸まきにまいてから、糸のはしをつないであみつけます。

♡そのまま30段くらいあみましょう。

キャリジが左がわにきたところであむのをやめてください。



くし歯のところを毛糸にさしてぶらさげます。くし歯の先に気をつけて

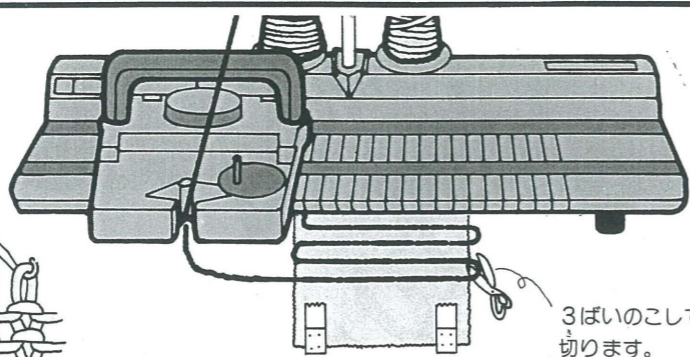


メリヤスあみ 30段くらい

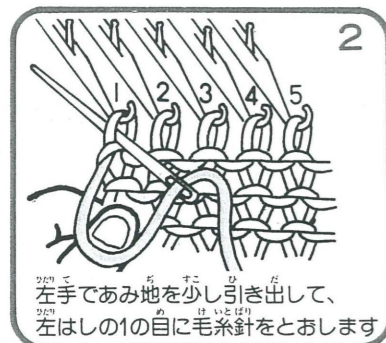
♡あみ地をそのまま針からはずすと、あみ目がほどけてしまいますのでふぞくの毛糸針をつかって、「まきどめ」という方法でとめます。

まきどめの方法

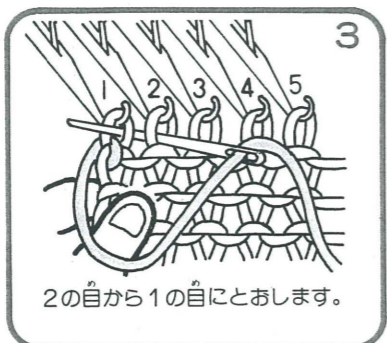
♡あみおわりの糸をあんではのやく3ばいのこしてハサミで切ります。その3ばいのこした糸を毛糸針におします。



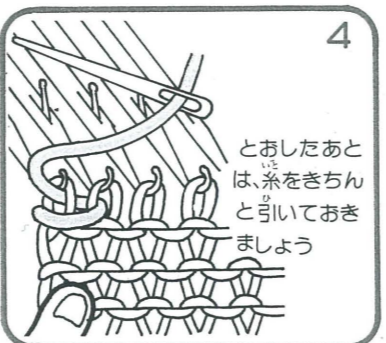
3ばいのこして切ります。



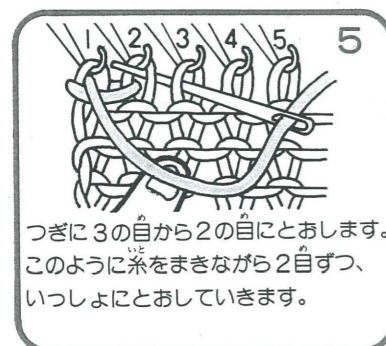
左手であみ地を少し引き出して、左はしの1の目に毛糸針をおします



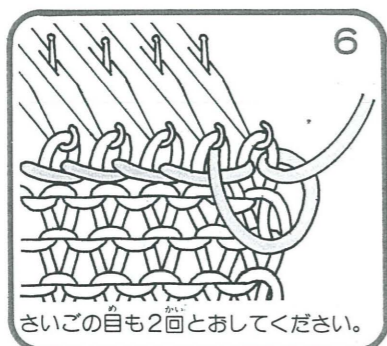
2の目から1の目におします。



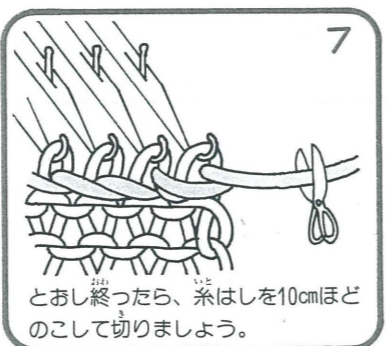
とおしたあとは、糸をきちんと引いておきましょう



つぎに3の目から2の目におします。このように糸をまきながら2目ずつ、いっしょにおしていきます。



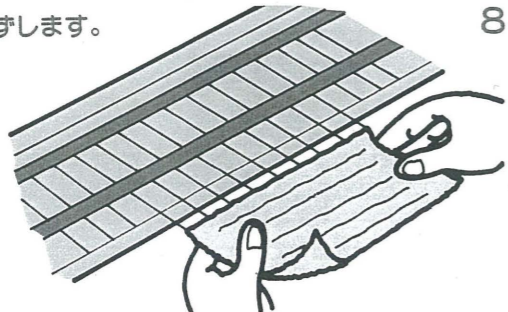
さいごの目も2回とおしてください。



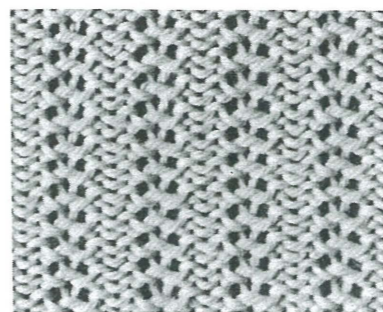
とおし終わったら、糸はしを10cmほどのこして切りましょう。

♡針からあみ地をはずします。

おもりははずしてからあみ地のはしを持って、ひっぱりながら、上へめくりあげると、あみ地は針からはずれます。



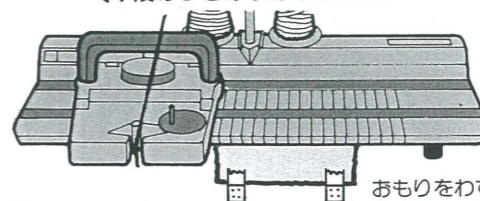
まきどめをせずにあみきからあみ地をはずしたいときは、キャリジの糸口から糸をはずして、そのまま、キャリジを1回動かすときれいにはずれます。



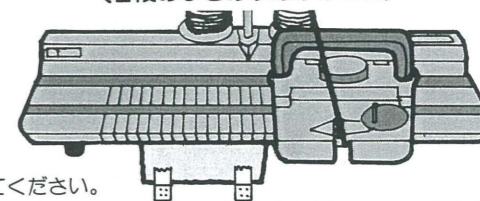
このあみきでは、針だし板をつかって、「ひきあげあみ」という、もようあみができます。一色であんでもよいし2色の毛糸であんでもきれいなもようがあめます。左の写真は、一色の並太毛糸をつかって、 $\frac{1}{2}$ の針だし板で、1段のひきあげあみをしたものです。このように例にしてあみ方をれんしゅうしてみましょう。

1 まず、あみはじめの目をつかって、5~6段以上メリヤスあみをしたら、キャリジを、1段のひきあげあみのときは左がわに、2段のひきあげあみのときは右がわにおきます。(上の写真のもようは、1段のひきあげあみなので、左がわにおきます。)

(1段のひきあげあみのとき)

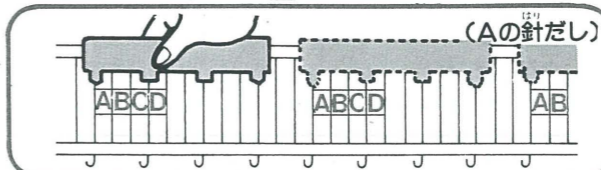


(2段のひきあげあみのとき)

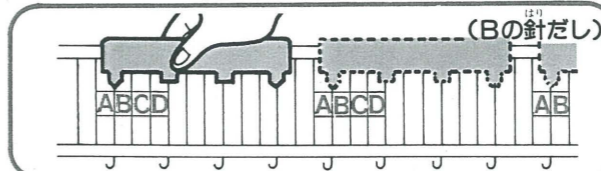


おもりをわすれずにかけてください。

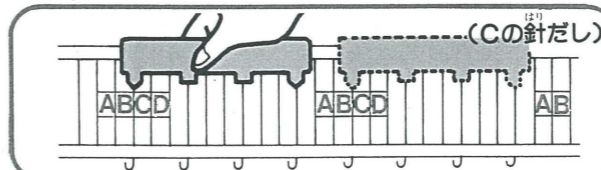
2 針だし板をつかって、「あむ位置」の針を「もようあみの位置」までだします。どの針をだすかは、みぞ板のA、B、C、Dの4つの位置でできます。(このもようでは、 $\frac{1}{2}$ の針だし板で、Aの針だしをしてください。)



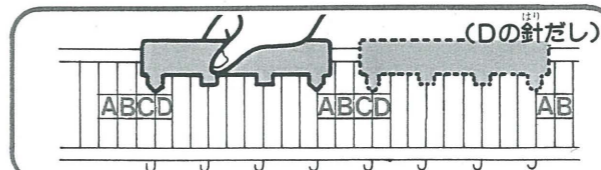
(Aの針だし)



(Bの針だし)



(Cの針だし)

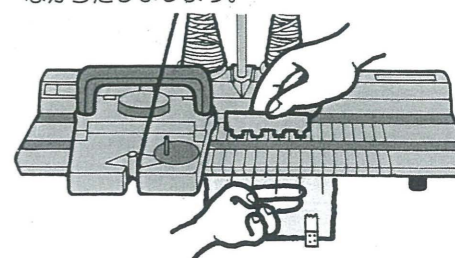


(Dの針だし)

Aの針だしのときは、みぞ板のAのしるしの左がわの針と、針だし板の左はしのくし歯をあわせて、針をだします。かならず、「あむ位置」の針だけだしてください。(「やすむ位置」にある針をだしてはいけません。)

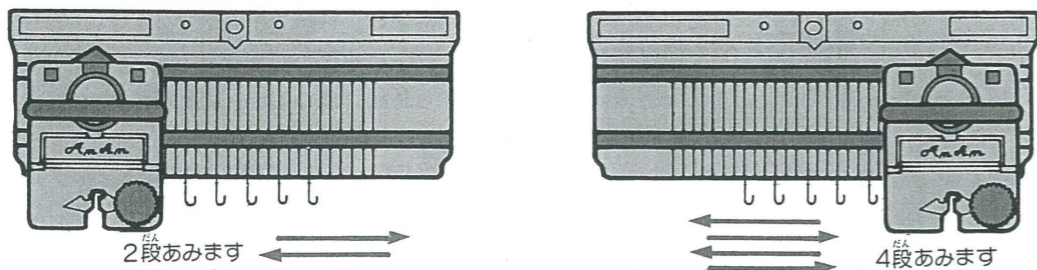
B、C、Dの針だしのときも、同じ方法でだします。

(ちゅうい) 針だし板で針を前にだすとき、あみ地が前へ出てきてしまわないように、手でおさえながらだしましょう。



3 キャリジを動かしてあみます。キャリジが右にあるか、左にあるかでつぎようになります。

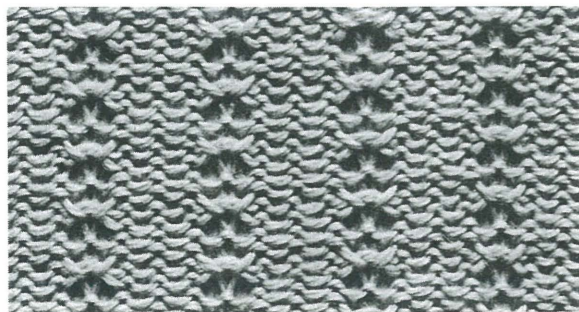
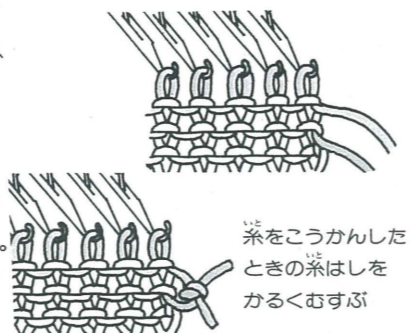
(キャリジが左がわのとき)…左から動かして2段あみます。……1段のひきあげあみがあめます。  
 (キャリジが右がわのとき)…右から動かして4段あみます。……2段のひきあげあみがあめます。



同じようにして、針だし板で針を前へ出してから、キャリジであむのをくりかえして、もようをあんでいきます。(2と3のせつめいをくりかえします。) 針だし板のしゆるいをかえたり、針だしの位置を、Aの針だしだけでなく、BやCやDの針だしをくみあわせてつかうと、もっといろいろなもようがあめます。

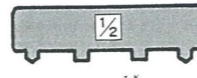
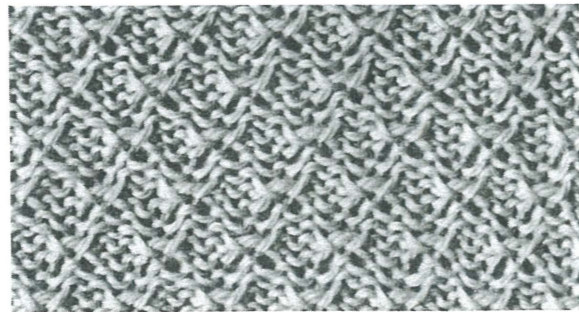
### もようあみのいろいろ

☆ どのもようあみをする場合も、はじめに、メリヤスあみを5～6段以上あんで、おもりをさげてからあみはじめてください。  
 ☆ 2色の毛糸をつかってあむときの毛糸のこうかんのしかたは、まず、今まであんでいた毛糸をキャリジの糸口からはずして糸はしを10cmほどのこして切り、そのまま下にたらししておきます。糸まきの方の糸は、テンションの前の方だけはずして、そのままにしておきます。つぎに新しくかえる毛糸を、テンションのあいている方にとおしてから、キャリジの糸口にとおして、あみはじめます。1段あみしたら、糸をこうかんしたときの2本の糸はしを、ゆるまないようにかるくおすんでおきます。



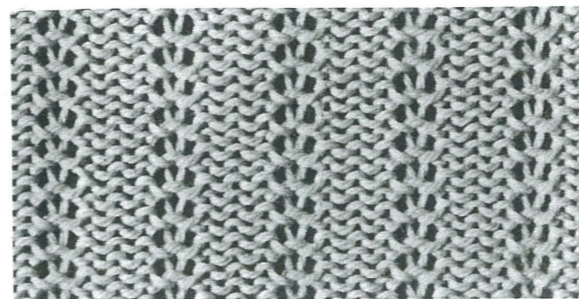
$\frac{1}{3}$ の針だし板をつがいます。

- ☆ キャリジを右がわにおきます。
- 1 Aの針だしをして4段あみます。
- ☆ 1をくりかえします。



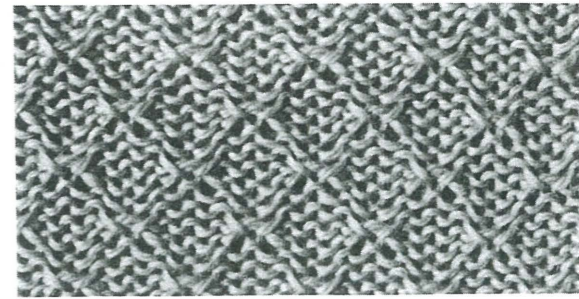
$\frac{1}{2}$ の針だし板をつがいます。

- ☆ キャリジを右がわにおきます。
  - 1 Aの針だしをして4段あみます。
  - 2 Bの針だしをして4段あみます。
  - 3 Cの針だしをして4段あみます。
- 1~3をくりかえします。



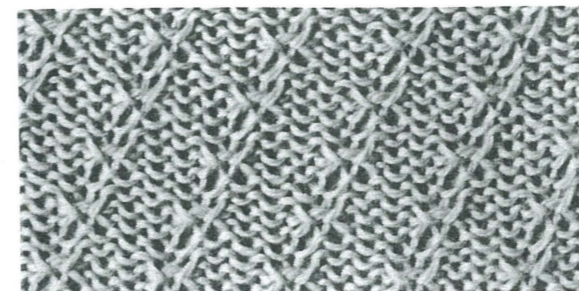
$\frac{1}{3}$ の針だし板をつがいます。

- ☆ キャリジを左がわにおきます。
- 1 Aの針だしをして2段あみます。
- ☆ 1をくりかえします。



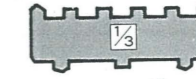
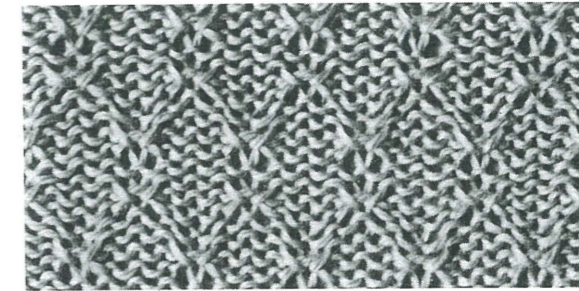
$\frac{1}{3}$ の針だし板をつがいます。

- ☆ キャリジを右がわにおきます。
- 1 Aの針だしをして4段あみます。
- 2 Cの針だしをして4段あみます。
- ☆ 1~2をくりかえします。



$\frac{1}{3}$ の針だし板をつがいます。

- ☆ キャリジを右がわにおきます。
  - 1 Aの針だしをして4段あみます。
  - 2 Bの針だしをして4段あみます。
  - 3 Cの針だしをして4段あみます。
  - 4 Dの針だしをして4段あみます。
- 1~4をくりかえします。

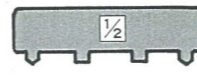
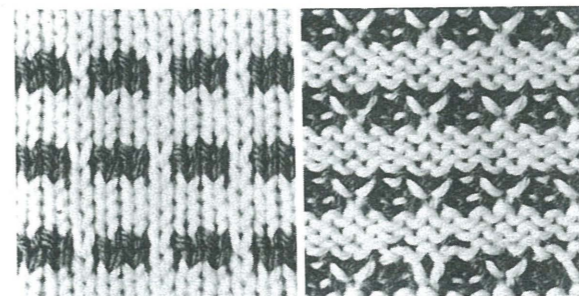


$\frac{1}{3}$ の針だし板をつがいます。

- ☆ キャリジを右がわにおきます。
  - 1 Aの針だしをして4段あみます。
  - 2 Aの針だしをして4段あみます。
  - 3 Cの針だしをして4段あみます。
  - 4 Cの針だしをして4段あみます。
- 1~4をくりかえします。

おもて

うら

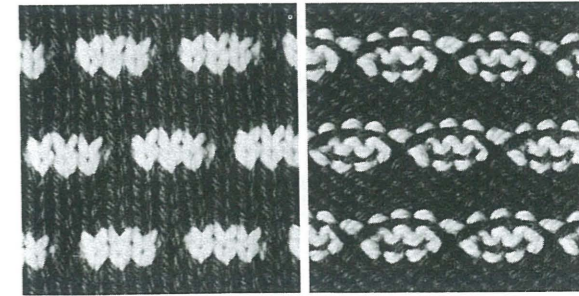


$\frac{1}{2}$ の針だし板をつがいます。

- ☆ キャリジを右がわにおきます。
- 1. ブルーでAの針だしをして2段あみます。
- 2. ピンクでそのまま4段あみます。
- ☆ 1~2をくりかえします。

おもて

うら

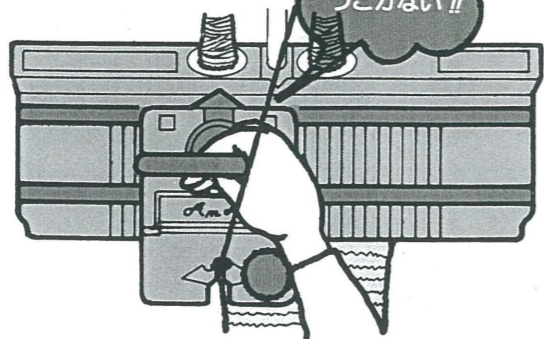


$\frac{1}{3}$ の針だし板をつがいます。

- ☆ キャリジを右がわにおきます。
  - 1 白でAの針だしをして2段あみます。
  - 2 みどりでそのまま4段あみます。
  - 3 白でCの針だしをして2段あみます。
  - 4 みどりでそのまま4段あみます。
- 1~4をくりかえします。

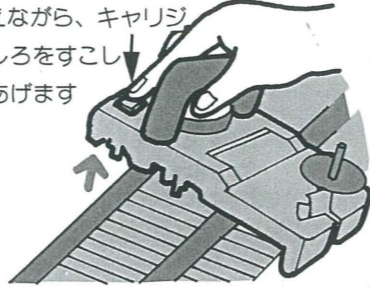
♥この説明は小さいお子さまには、むりなところもあります。おうちの方がいっしょに手助けしてあげてください。

キャリジが動かなくなったとき

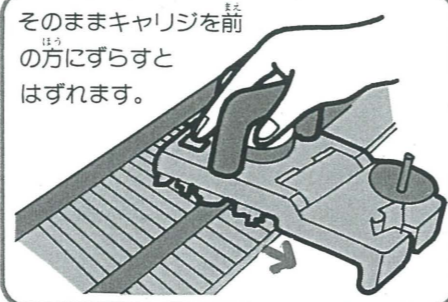


- ☆キャリジがつかえて動かなくなったら、あわてずに右の図のようにしてキャリジをはずします。
- ☆はずしたキャリジは、右から左へあんでいたときは右はしに、左から右へあんでいたときは左はしに、いれておきます。
- ☆とちゆうまであまれてしまった目は、はしまでほどきます。つぎの(あみ目をほどきたいとき)をみてください。

はずしツマミのどちらかひとつをおさえながら、キャリジのうしろをすこし持ちあげます

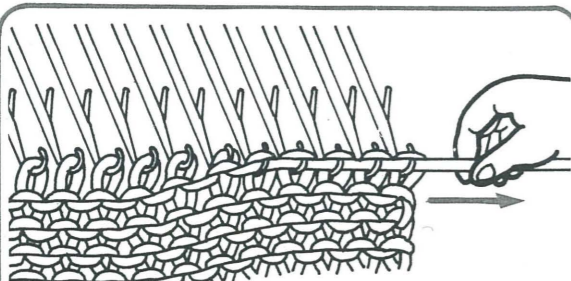


そのままキャリジを前の方にずらすとはずれます。

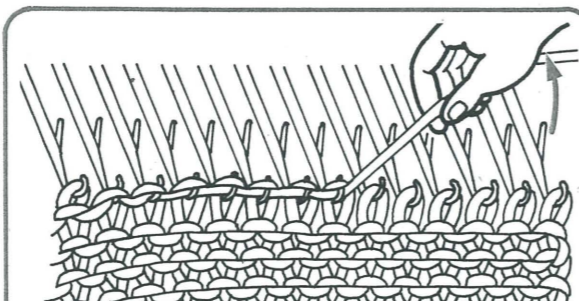


あみ目をほどきたいとき

☆もし針から目がはずれていたら、目を針に掛けてからほどきます。(つぎのページの(あみ目がはずれたとき)をみてください。)

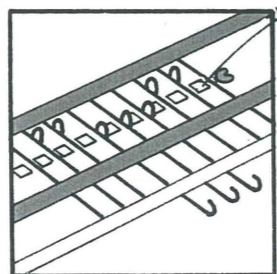


あみおわりの糸を横につよくひっぱります。目になっている糸がつれてまっすぐになりましたね。



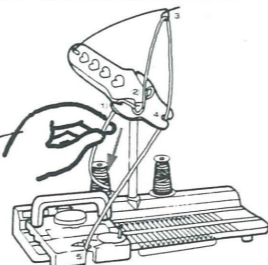
まっすぐになった糸をななめ上に持ち上げるようにすると糸がほどけます。

- ☆目の数が多いときは、いちどにできませんのでなんかいかにわけてほどきます。
- ☆ほどきおわったら針を「あむ位置」にそろえます。前へでしまった針は、中間の♡のしるしの位置にそろえます。
- ☆糸のたるみをとってからあみはじめましょう。



「あむ位置」より前へでしまった針はこの位置にそろえます。

たるみをとります。

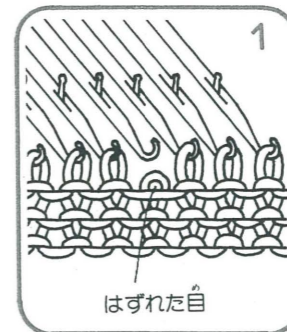


あみ目が針からはずれたとき

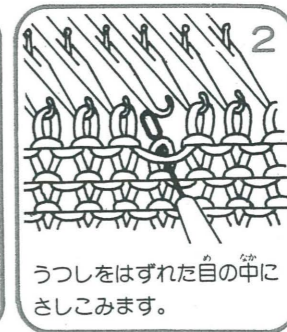
あみ目が針からはずれてしまったときは「タッピ・うつし」をつかってなおします。



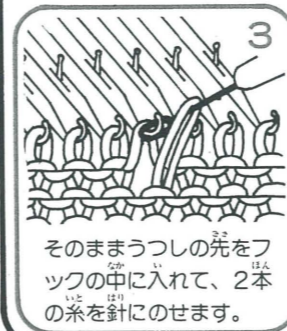
かるくえんぴつをにぎるようなかんじで持ちます。



はずれた目



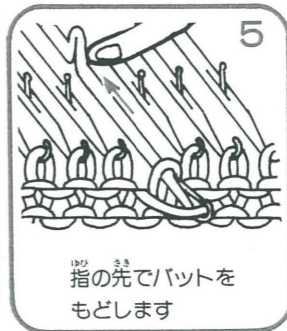
うつしをはずれた目の中にさしこみます。



そのままうつしの先をフックの中に入れて、2本の糸を針にのせます。



目になっている方の糸をペラのうしろにおきます



指の先でパットをもどします



落ちた目があまれてあみ目がなりました

☆☆ うまくあめないときにちゆういすること☆☆

☆キャリジを動かすのがおもしろいとき、または動かないとき。

- ① 糸がふとすぎませんか。6ページの「このあみきでつかえる糸のしゆるい」のところをみてください。
- ② 糸がどこかにからまっていませんか。糸まき→テンション→キャリジの糸口まで、糸が正しくとあっているかたしかめてください。(10ページをみてください。)
- ③ 糸まきに糸がきちんとまかれていますか。まき方がきつすぎたり、ゆるすぎたり、かたよったりしているとうまくあめません。
- ④ 糸のむすびめがどこかにひっかかっていますか。ひっかかっていたらほどいてむすびなおしてください。
- ⑤ キャリジがガチンときゆうに止まってしまったときは、針のパットが「あむ位置」や「もようあみの位置」からずれていて、キャリジにぶつかったときがほとんどです。針を正しい位置にもどしてからあんでください。

☆あみ目が針からおちる(はずれる)とき。

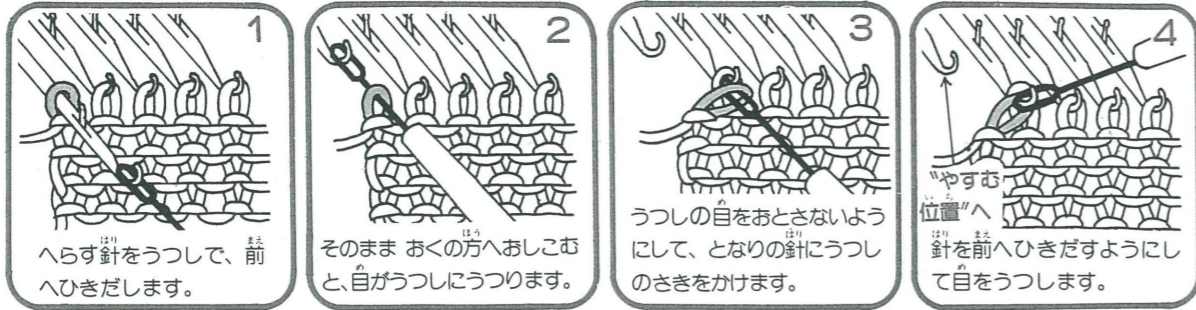
- ① おもりをあみ地の両はしに正しくかけていますか。
- ② キャリジをはしの方まで動かしてすぎしていませんか。はしの目がおちたり、糸がたるんだりするのは、テンションに正しく糸がとあっていないか、キャリジの動かすすぎです。

☆あみきがよごれたときは、かわいた布でふいてください。シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリンなどはぜったいにつかわないでください。

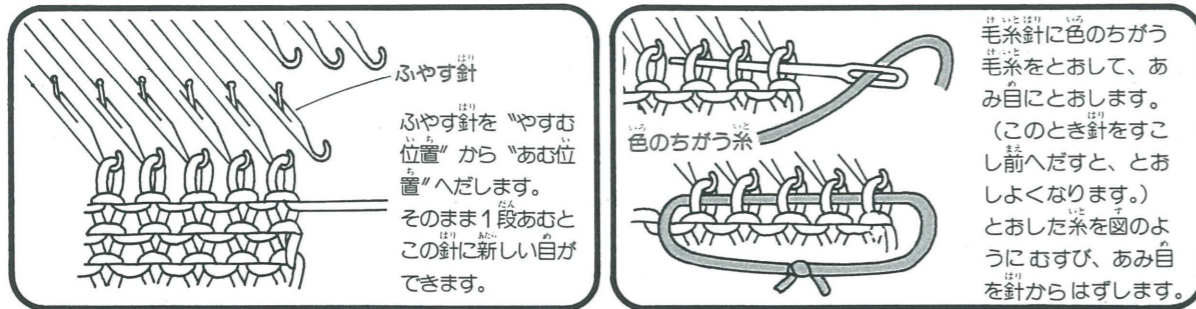


作品をつくるための方法

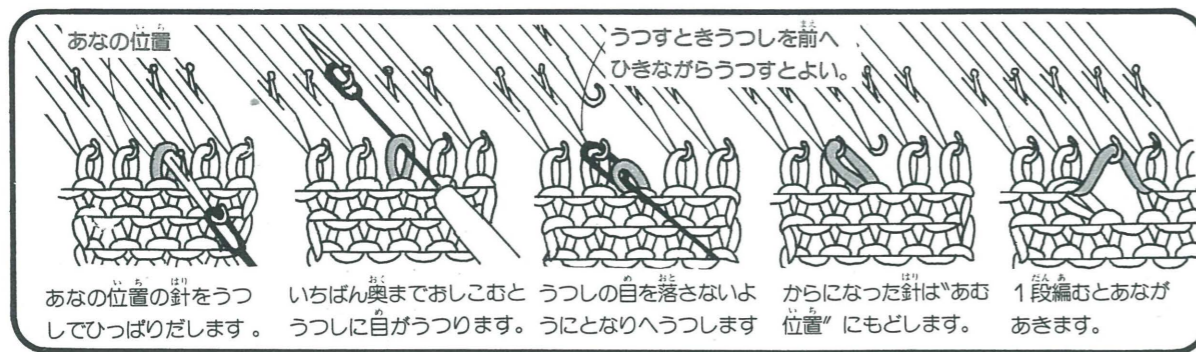
♡目をへらす方法 (下の図は左はしの目をへらす場合ですが、右はしのへらし方も同じ方法でします。)



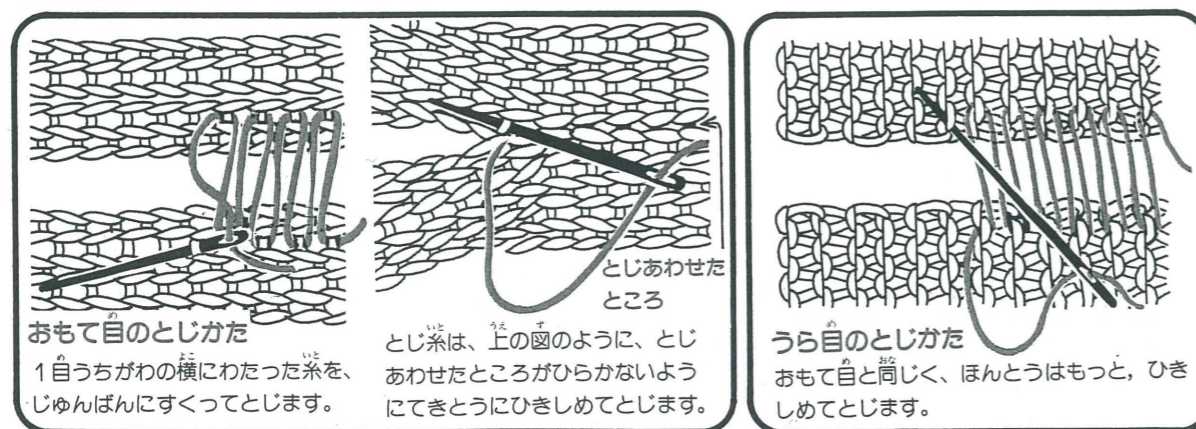
♡目をふやす方法 左はしの目をふやすときも同じ方法でします。♡目をへつ糸にとってははずす方法



♡ボタン穴 ひもとおし穴のあけ方



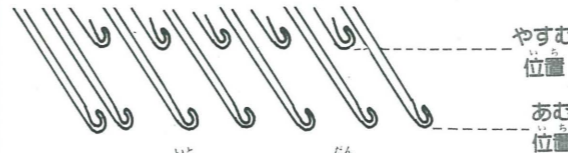
♡とじあわせかた



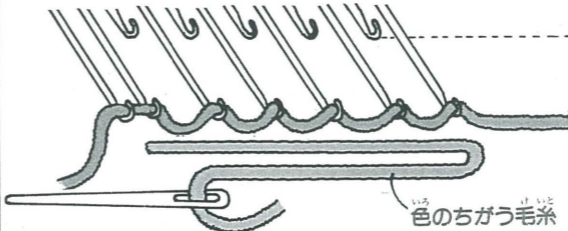
♡ゴムあみのあみかた(1目ゴムあみ).....(針の数を偶数にしてください。)

キャリジは左がわにおきます。

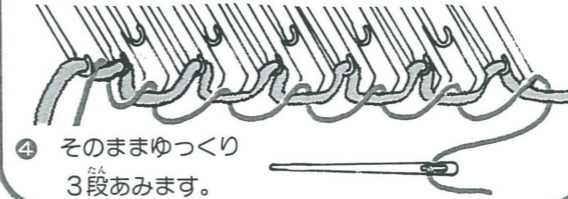
① ゴムあみにする針を、まず、左から2本「あむ位置」へだし、それから1本おきに「あむ位置」へだしてそろえます。



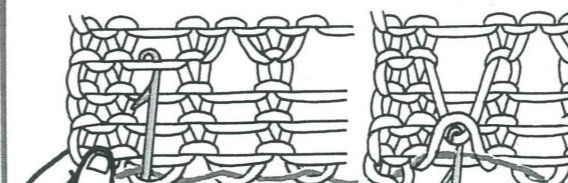
② キャリジに糸をとおして1段あみます。つぎに色のちがう毛糸をあむはばの2倍くらいの長さに切り、毛糸針にとおします。



③ ふつうに「あみはじめの目」をつくったときと同じやり方で毛糸針を針と針のあいだにわたった糸にとおしていきます。



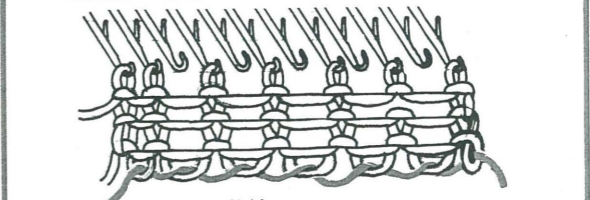
④ そのままゆつくり3段あみます。



⑤ ほどいたところをタツビをつかってゴムあみにします。ここにはタツビをいれます。左手でひっぱりながらタツビをつかいます。

同じようにして、一ばん上までくりかえして、さいこの目は針にかけます。つぎに1目おいたとなりの針の目をはずして、おもて目になおします。つぎつぎにくりかえして、右から2本めまでおもて目にします。ぜんぶがおわったら、あみはじめにつかた色のちがう糸をひきぬぎます。

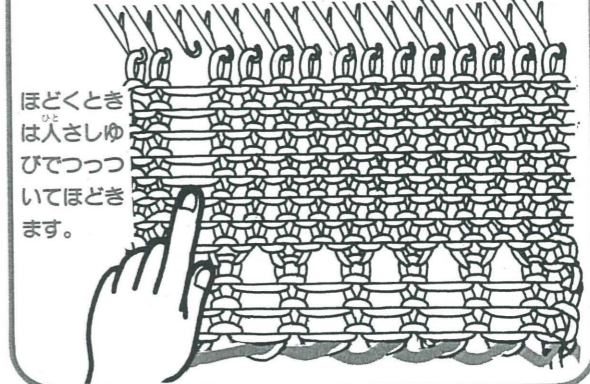
⑥ あんでいる針のあいだの「やすむ位置」の針を「あむ位置」へだします。



⑦ ゴムあみをする段数ぶんだけあみます。あみはじめにとおした色のちがう糸の両はしをもってひっぱりびんとさせます。

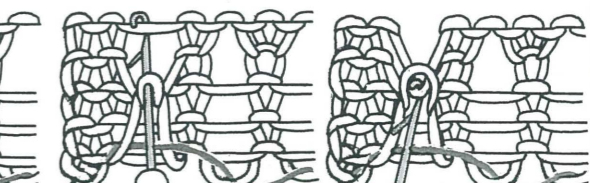


⑧ 左から3ばんめの目を針からはずして下までほどきます。

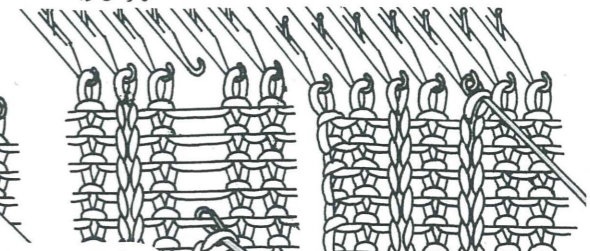


ほどくときは人さしゆびでつついてほどきます。

⑨



つぎにペラがぬけるまでタツビを深くさしこんでからその上の糸に先をかけます。同じようにひっぱりだします。



たのしい作品の作りかた

ニットキャップとマフラー



(ニットキャップの作りかた)

1 下の図のようなものを3まいあみします。

あみおわり(まきどめ)  
15だんあむ(ピンク)  
ニットキャップ(メリヤスあみ)(3まい)  
ここで糸をかえます。(白い糸をはずしてきり、ピンクの糸とおします。)  
34だんあむ(白)  
26白  
あみはじめ

2 3まいとじあわせします。

あみはじめの糸はしをひっぱってしほります。  
白のところはおもて目のとし方  
ピンクのところはうら目のとし方

3 しほった糸はしは、うらにだしてしばります。

ビーズやボタンやおかしのおまけなどもつけてかざりましょう。  
ピンクのところをくるくるとまく。

(マフラーの作りかた)

1 下の図のようなものを1まいあみします

あみおわり(とりめ)  
12だんあむ(ピンク)  
12だんあむ(白)  
12だんあむ(ピンク)  
マフラー(メリヤスあみ)(1まい)  
80だんあむ(白)  
12だんあむ(ピンク)  
12だんあむ(白)  
12だんあむ(ピンク)  
28白  
あみはじめ

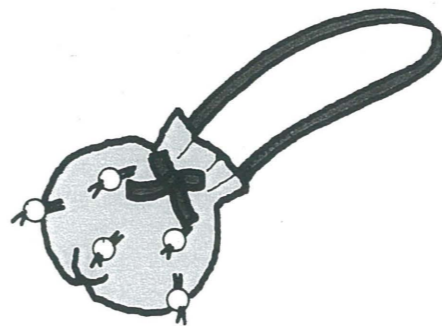
2 長い方をとじあわせて、わにします。

3 あみはじめとあみおわりの糸をしほります

しほったさきにポンポンをつけます。

♡ポンポンの作りかた

手でころころになるようにまるめます。  
あつ紙に130回くらいピンまん中をむすんでクの毛糸をまきつけます。わになったところをきります。



ポシェット

ざいりょう

並太毛糸 ピンク ~ 約 30g  
グログランテープ ピンク ~ 約 1m  
ピンク ~ 約 60cm  
ボタン (直径1.5cm) 8コ  
ラメ糸 ゴールド ~ すこし

1 下の図のようなものを2まいあみします。

あみおわり(まきどめ)  
8だんあむ  
3目おきに穴あきにする  
ポシェット(メリヤスあみ)(2まい)  
61だんあむ  
8だんあむ  
3目おきに穴あきにする  
20白  
あみはじめ

穴のあけ方(18ページをみてください。)  
目をうつしたところが穴になります。

2 ①2まいのあみ地を2つならべてとじあわせるとじあわせる

②とじあわせたものを、2つおいて、りょうわきをとじあわせします。

③ ボタンを下の図のようにつけます

②そこを針でぬってちぢめます。

たまおすび

4 ふちをラメ糸でステッチします。

5 ぬいつけます。

グログランリボンの長い方をつけます。

ぬいつけます。

グログランリボンのみじかい方をとおします。

# ウォールポケット

下の図のようなものを1まいあみます。

あみおわり(まきどめ) 3だんあむ(きみどり)

ポケット (もようあみ)

①~②を4回くりかえす。

②½の針だし板でAの針だして2だんにあむ(ピンク)

①4だんあむ(きみどり)

60だんあむ(ピンク)

(メリヤスあみ) (1まい)

フェルト(しろ)

アップリケする

アップリケする 棒をとす

15cm

10cm

あみはじめ

28目

60だん

33だん

ざいりょう  
並太毛糸  
ピンク~ 約 45g  
きみどり~ 約 10g  
あつ紙たて5cmよこ5cm  
フェルト白たて15cmよこ10cm  
ちやいろ すこし  
ボタン 赤~2コ  
ししゅう糸 茶いろ、ペーヂ  
棒 20cm

2

アップリケする 棒をとす

くさりあみ

うらがわこしつけます

あつ紙に100回まいてポンポンをつくる

とじる

# ポシエット



ざいりょう  
並太毛糸 赤~ 約 30g  
ブルー~すこし  
ボタン 直径 1.2cm 1コ

下の図のようなものをそれぞれ1まいずつあみます。

あみおわり(まきどめ) 3だんあむ(赤)

花

あみおわり(まきどめ) (ブルー)

3だんあむ(赤)

27目

あみはじめ

67だん

27目

①~②をくりかえす(40だん)

②½の針だし板でAの針だして2だんあむ(ブルー)

①8だんあむ(赤)

まん中の目を1目ボタンホール

4だんあむ(赤)

あみはじめ

1

あみおわり(まきどめ) (ブルー)

3だんあむ(赤)

あみはじめ

2

① りょうわきをとじあわせませう。

とじあわせる

とじあわせる

② 花をつくりませう。

あみはじめの糸をひいてちぢめて花にする

ボタンをつける

③ 花をボタンホールのまわりにつけてかかります。おこうがわの内がわにボタンをつけませう。

3

さげひもをあんてつけませう。

1m80cm(並太毛糸赤)

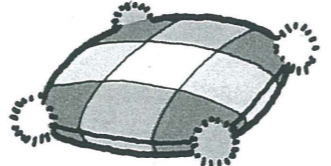
上の6本の糸を3つにわけて、みつあみませう。

6ほん

わきにとじつけませう。

①②③ ②①③ ②③①

# クッション



あみおわり(まきどめ) 1

23だん

ピンク ブルー ピンク

きみどり きいろ きみどり

22だんごとに色をかえてあみませう。

133だん

22だん

17目 17目 17目

あみはじめ

ざいりょう  
並太毛糸 ピンク~ 約 45g, きみどり~ 約 45g  
ブルー~ 約 25g, きいろ~ 約 25g  
あつ紙 たて7cm よこ5cm  
パンヤ 1ふくら

2

ブルー きいろ

35cm 35cm

パンヤを入れてからとじます。

100回まいてポンポンをつくらせてつけませう。

とじあわせる

とじあわせる

とじあわせる

○表紙や2~4ページのしゃしんの作品のうち、作り方のせつめいのないものがありますが、いままでれんしゅうしてきたことをもとにいろいろくふうして、あなただけのすてきな作品をつくってみませう。

○作品をつくるとき、とじあわせたり、ぬったりするまえに、スチームアイロンであみ地にスチームをかけると目がそろってきれいにしあがります。(アイロンをつかうときは、あぶないですからお家のひとに手つだってもらってください。)